



炬火リレー出発式で、自分の地区の火をトーチにともす各地区代表者。10地区ごとに1本のトーチへ点火



炬火リレーの出発を盛り上げた桜城小金管バンドの演奏



▶たくさんの人に見送られて出発する中学生の走者

もりおか 広報 2016

9月1日号(No.1440)

盛岡市炬火集火式（希望郷いわて国体・希望郷いわて大会盛岡市実行委員会主催）が8月7日、内丸のもりおか歴史文化館前で開かれました。

7月までに市内全30地区などでおこした炬火の一つにまとめるイベントで、本大会開幕55日前に合わせて開催。炬火リレー出発地となった盛岡駅前通の木伏緑地では、各地区の代表者がそれぞれの炬火をトーチへと移しました。火は、公募で選ばれた市民と国体・大会出場予定選手計21人によるトーチリレーで市内約1.6キロを巡り、もりおか歴史文化館前に到着。待ち受けた谷藤裕明市長のトーチに炬火がまとめられ誕生した「盛岡市の火」は、下米内二丁目の豊川三郎さん（85）が応募した「盛岡の未来をかざす 希望の火」と名付けられました。

オリンピックの聖火に当たる炬火。盛岡市民約3300人がおこした炬火は県内各市町村の炬火と共に、いわて国体・大会の選手たちを見守るシンボルとしてメイン会場の北上総合運動公園の炬火台にともされます。



①国体のため架け替えられた亀ヶ池栈橋を渡り、②ボランティアらが植栽した東北銀行本店前の花壇を通過する最終ランナー③最終ランナーを出迎える大勢の市民④谷藤市長のトーチへ火が移され、盛岡市の火が誕生した瞬間

盛岡の未来をかざす 希望の火

盛岡市炬火名

国体・大会のイメージソングなどを披露した白澤みさきさん



▲谷藤市長により炬火受皿にともされた盛岡市の火

ペットボトルで装飾された盛岡城も同館前にお目見え。風船のリリースとわんこダンスでお披露目式を盛り上げた、なでしこども園の園児たち。夜はライトアップされ、訪れる人たちを歓迎します▶



◆主な内容◆ (平成28年9月1日号)

国体本大会特集	2～3ページ
盛岡秋まつり山車、岩洞湖まつり、手づくり村工房まつり、バスの日まつり、つどいの森感謝祭、志波城まつり、秋のウォーキングイベント	4～5ページ
ひとり親家庭のための法律相談、臨時福祉給付金などの支給、玉山地域で分別収集、市街化区域変更素案の公表、指定管理者聴き取り審査の公開、各種募集（子育て支援事業、パブリックコメント、フルコレ2016出場者、老人作品展出品作品、結婚祝会参加者）	6～7ページ
消費生活情報えぶろん	8ページ
盛岡ライフストーリー、盛岡のプロスポーツ、市民伝言板	9ページ
もりおか寸評（山形純菜さん）	12ページ

